

美術研究科絵画専攻日本画

養成人材およびカリキュラム編成の方針

日本画専攻は、日本画における高度な技術と知識を有した作家や研究者の養成だけでなく、日本画分野における指導的役割を果たすことができる人材を育成することを目的としている。

学部で習得した知識や技術を基に、さらなる芸術性を追求するための造形力・創造力の育成、知識の習得ができるようなカリキュラムとなっている。また、研究室ごとに特化した研究プログラムによる多様な技法・材料実習や集中講義も編成し、複数の教員によるきめ細かな指導の元、学生それぞれの研究テーマに沿った創作研究活動を行い、さらなる造形力・想像力の養成、知識の習得を目指す。

求める入学者像

- ・学部で習得した日本画の知識や技術をさらに深め、創作研究を行える者。
- ・日本画制作に対して常に意欲的に取り組める者。
- ・創作活動を通して他者や社会とのつながりを考えている者。

修了認定・学位授与の方針

所定の単位を修得し、最終学年次の「修了制作」に合格した学生の修了を認め、修士の学位を授与する。「修了制作」は、専任教員全員で作品の審査と採点を行い、評価を決定する。

カリキュラム構成

大学院は3研究室からなり、研究毎に特化したプログラムを組んでいる。各研究室では複数の教員が指導にあっている。

第1研究室 日本画制作及び材料研究

- ・創作研究
- ・「一研展」

第2研究室 日本画制作、素描及び材料研究

- ・創作研究
- ・「素描展」の企画運営など

第3研究室 日本画制作、古典模写及び技法・材料研究

- ・創作研究
- ・「国宝 信貴山縁起絵巻」などの模写

研究室共通 修了制作

教育目標

- ①伝統を基盤とした現代日本画の創作
- ②伝統技術と精神の継承および発展
- ③自国の伝統文化への深い造詣と考察
- ④国内外の多様な文化への理解

年次	科目	教育目標
1年次	日本画研究Ⅰ	①②③④
	日本画研究Ⅱ	①②③④
2年次	日本画研究Ⅲ	①②③④
	日本画研究Ⅳ	①②③④